■『基本講義 債権各論Ⅱ　不法行為法　第2版増補版』正誤表

頁	場所	誤	正
195	12.3「差し止め請求と受忍限度」 第9行目	日照妨害における差止請求の場面でも採用しました。	日照妨害における損害賠償請求の場面でも採用しました。